

研究に関するお知らせ

(研究課題名：エピジェネティック異常が関連する再発リスクの研究)

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター外科では、以下にご説明する研究を行います。

この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんので、ご安心ください。

■研究目的・方法

意義：各種癌（食道癌、胃癌、咽頭癌、膵癌、腎癌、肺癌）は、様々な環境の変化が加わり発生すると考えられていますが、十分に解明されているわけではありません。特に加齢やタバコ、アルコール飲酒などが関連すると言われていています。我々は以前の研究で、食道癌や胃癌で疾患に関連するいくつかの分子を見つけて来ました。さらに、これらの分子が膵癌や腎癌、肺癌にも関連することがわかって来ました。

目的：当院における過去の各種の癌の病理組織切片を用いて様々な因子の研究を行います。

方法：過去の各種癌（食道癌、胃癌、咽頭癌、膵癌、腎癌、肺癌）約 600 症例を対象にします。①診療録からの各種癌の治療の成績をデータベース化します。②病理診断がなされた各種癌切除後の病理標本から免疫染色等を行い、関係のある因子を検討します。

■研究期間

倫理委員会承認日から2030年12月31日まで

■研究の対象となる方

食道癌、胃癌、咽頭癌、膵癌、腎臓癌（泌尿器悪性腫瘍）、肺癌の治療のため、当センター 外科、消化器科、泌尿器科で 1990 年 1 月から 2025 年 12 月までに、外科治療や内科治療を受けられた方。

■ご協力頂く内容

上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報と、診療で使用した病理検体を研究に使わせていただきます。使用に関しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で

Version1.5 (西暦 2025 年 10 月 27 日)

行います。患者さんに新たにご負担頂くことはありません。すでになくなっておられる方について、原則として生前における明示的な意思に反していない場合には、許可を得たものとして研究をすすめさせていただきますが、研究利用について生前何らかの意思表示をされておられる場合や、ご家族よりのご希望がありましたら、沿うようにいたしますので、その旨ご連絡いただきたく存じます。

■研究組織

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 山田和彦
順天堂大学医学部 齋浦明夫

■利益相反について

利益相反の状況については JIHS 利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関する研究全体及び研究者個人として申告すべき利益相反の状態はありません。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文章でお渡しすることができます。ご希望される方は、どうぞ記載の問い合わせ先にお申し出ください。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させていただいたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載の問い合わせ先にお申し出ください。

■当院の研究責任者：

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 食道胃外科 山田和彦

■本研究全体の研究代表者：

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 食道胃外科 山田和彦

■お問い合わせ先

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 食道胃外科 山田和彦
住所 東京都新宿区戸山1-21-1 電話 03-3202-7181